

羽村市動物公園の在り方に関する基本方針

令和7(2025)年3月

羽 村 市

目 次

第1章 羽村市動物公園の概要	1~2
1 沿革	1
2 施設の概要	2
第2章 現状の把握	3~9
1 管理運営の状況	3~6
2 市民・来園者の評価	7~9
第3章 基本方針	10~11
1 基本方針策定の目的	10
2 基本方針の位置付け	10
3 将来像	11
4 基本方針	11
第4章 管理運営計画の策定	12~13
1 管理運営計画の目的と位置付け	12
2 個別計画の概要	12~13
3 管理運営計画の進行管理	13

第1章 羽村市動物公園の概要

1 沿革

羽村市動物公園（以下「動物公園」という。）は、国有地の無償貸し付けを受けて昭和53年5月に供用を開始した都市計画施設の都市計画公園である。

総面積は、42,691㎡で、動物園と一般公園の2つの区域からなり、動物園区域には、管理棟や動物獣舎があり、アミメキリンやシセンレッサーパンダ、鳥類など、68種類508点（令和7年1月1日時点）の動物種の飼育展示を行っている。

公園区域には、武蔵野の面影をとどめる自然林をはじめ、芝生広場などがあり、動物とのふれあいや自然空間を体感できる施設である。

平成20年度には、指定管理者制度による管理運営を開始し、民間事業者のノウハウを活かした動物の飼育展示や自主事業によるエサやりツアー、企画展などを実施しており、西多摩地域の特色ある施設として、かつ身近な動物園、憩いの場として年間21万人以上の来園者が訪れる施設である。

また、令和2年度羽村市市政世論調査では、羽村市の魅力・羽村らしさを感じる施設として動物公園は、第2位という結果であり、市民にとって市の魅力や誇りという存在価値が非常に高い施設である。

<これまでの主な出来事>

昭和53年	羽村町営動物公園開園（全国初の町営動物園）
昭和55年	アミメキリン（多摩動物園から寄贈）
昭和63年	日本鶏舎建築
平成 3 年	市制施行により羽村市動物公園に改名
平成 7 年	入園者500万人達成
平成15年	サバンナ園オープン（動物混合飼育開始）
平成17年	スタディーホールオープン、レッサーパンダ来園
平成20年	指定管理者制度導入（株式会社横浜八景島）
平成22年	松林小学校児童園内通路学路登校始まる
平成29年	入園者1,000万人達成、アミメキリンの誕生
平成30年	エントランス・管理事務所改修、屋外トイレ・防災倉庫新設、クラウドファンディングを活用した市内イラストレーターとの共同によるシンボル看板新設
令和 5 年	クラウドファンディングによるインドクジャク舎新設 アメリカビーバーの双子誕生
令和 6 年	レッサーパンダの繁殖に初めて成功、お披露目式挙行



昭和53年5月 動物公園開園



平成15年4月
サバンナ園オープン（混合飼育）



平成22年9月 園内通路学路開



令和5年3月
インドクジャク舎新設



平成30年8月
エントランス・管理事務所改修
シンボル看板新設



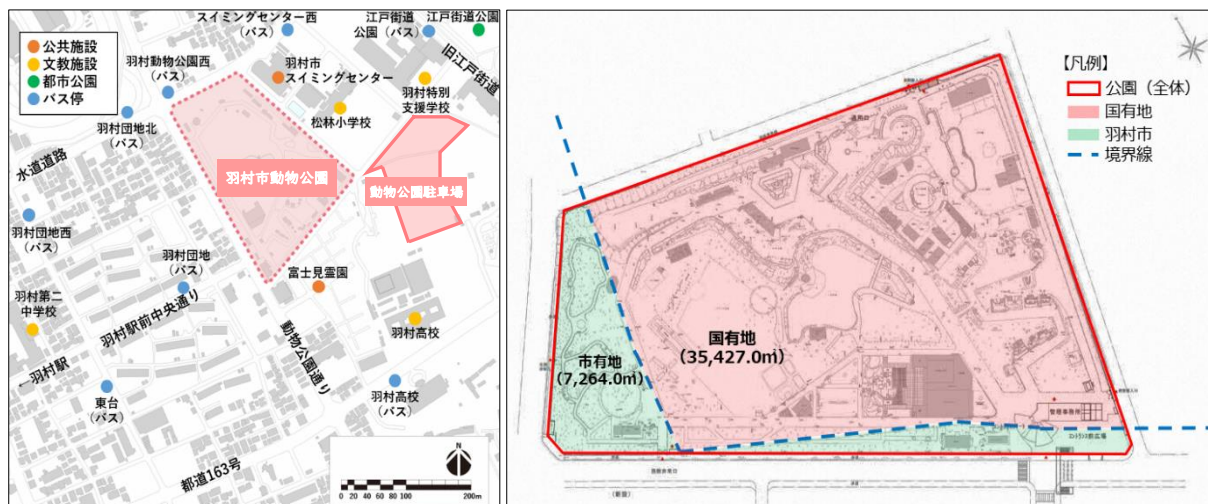
令和6年6月
レッサーパンダ誕生
（命名事業・お披露目式開催）

2 施設の概要

(1) 施設の概要

公園種別		都市計画公園(近隣公園)	
位 置		羽村市羽4122番地	
都市計画決定面積		約4.2ha(42,691㎡)	
都市計画の情報	土地所有者	市有地	国有地
	面積	7,264㎡	35,427㎡
	用途地域	第一種中高層住居専用地域	市街化調整区域
	建ぺい率	60%	
	容積率	200%	
	高度地区	第1種高度地区	
	防火・準防火地域	準防火地域	
現況建ぺい率		5.82%	
飼育展示動物		68種類508点(令和7年1月1日時点) (哺乳類23種250点、鳥類30種137点、爬虫類7種56点、 両生類1種3点、魚類6種52点、無脊椎類1種10点)	
開園時間		3月～10月 午前9時～午後4時30分 11月～2月 午前9時～午後4時	
入園料		子供(～18歳未満)無料、大人(～65歳未満)500円、65歳以上200円、個人年間定期券:大人1,500円、65歳以上600円	
羽村市地域防災計画位置付け		公共施設の避難場所・避難所が不足時の避難場所・避難所	
駐車場 (付帯施設)	位置	羽村市羽4131番地1外	
	面積	11,825㎡	
	駐車台数	322台	
	使用料	1回300円(大型1,000円)	

(2) 位置図・周辺状況・平面図



第2章 現状の把握

1 管理運営の状況

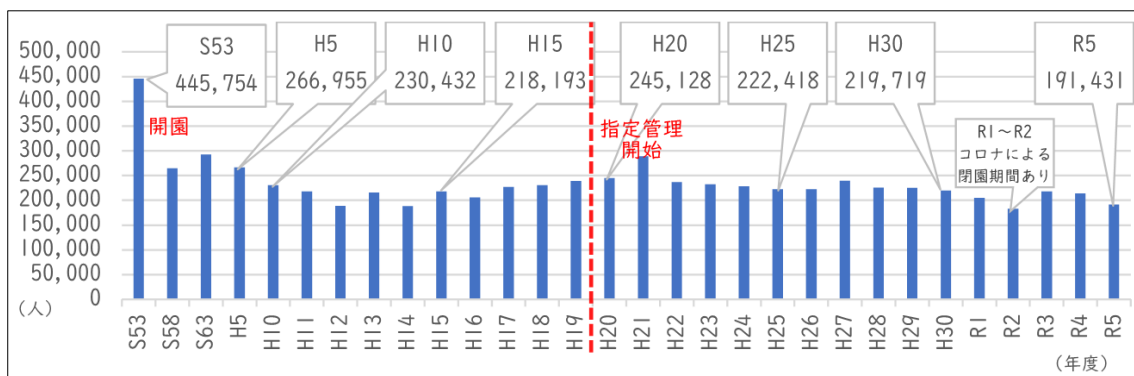
令和6年度動物公園の在り方検討事業の基礎調査において、動物公園の管理運営状況は以下のとおりである。

(1) 入園者数の推移

<年間入園者数>

令和5年度の入園者数は191,431名であり、開園当初（昭和53年）入園者数の4割程度、平成21年度入園者数の7割程度となっており、年々減少傾向にある。

入園者数の変動は、天候の影響を受けることが多く、入園者数の多い週末や祝日に雨天となると大きく入園者数が減少する傾向である。その一方で、動物の誕生や誕生日イベント等の実施により、例年以上の入園者が訪れている。



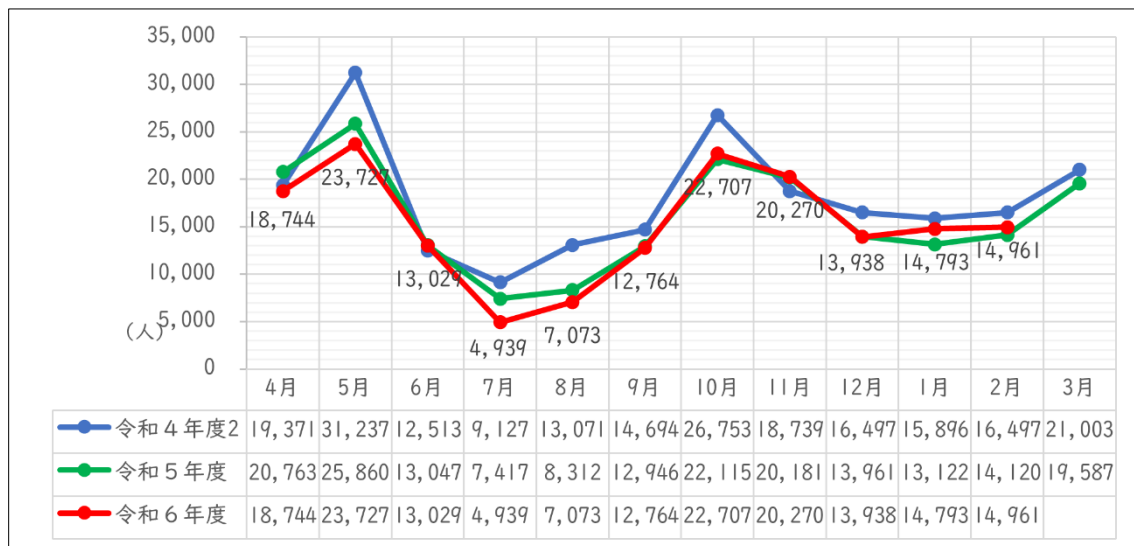
<月別入園者数>

令和6年度の月別入園者数を比較すると、令和6年度が過去最低の入園者数で推移している。

年間で入園者数が最も多い5月の大型連休においては、令和4年度の3割程度減少しており、7月・8月の夏季期間の入園者数は5割程度減少している。

令和6年10月から11月は、同年6月に誕生したシセンレッサーパンダの仔獣のお披露目や報道関係で取り上げられたことで、入園者数の増加に繋がった。

また、令和7年1月は、令和5年と令和6年に誕生したアメリカビーバーのイベント開催により、入園者数の増加に繋がった。



(2) 管理運営費の推移

<収支の状況>

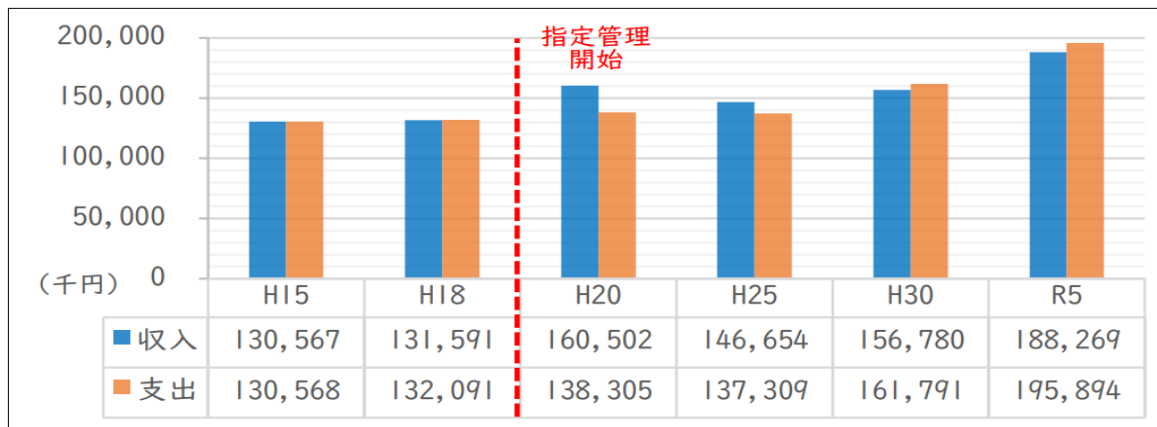
指定管理者制度を導入した平成20年度から、収入と支出ともに増加傾向である。

また、平成30年度と令和5年度においては、支出が収入を上回っている状況である。

<指定管理料の推移>

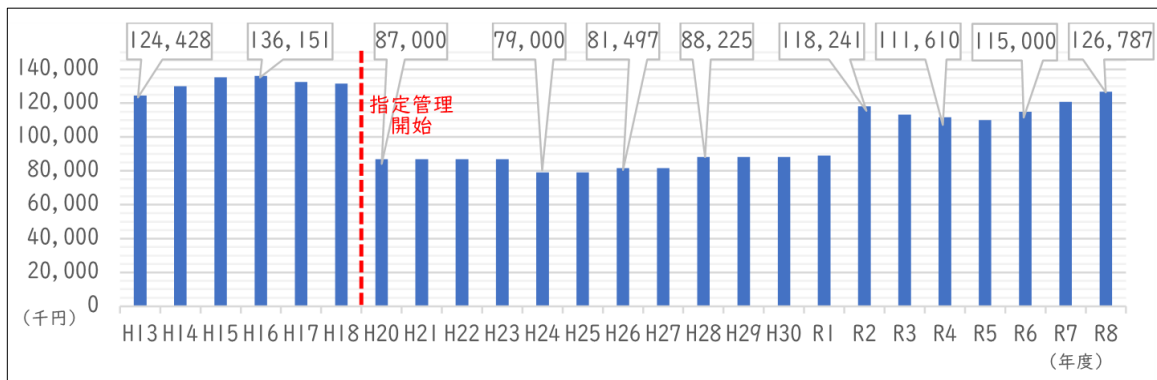
市の支出である指定管理料は増加傾向にあり、指定管理者制度を導入した平成20年度は87,000千円、令和6年度には115,000千円となった。

令和7年度から令和8年度に掛けては、毎年度5%程度増加する指定管理料で協定を締結している状況である。

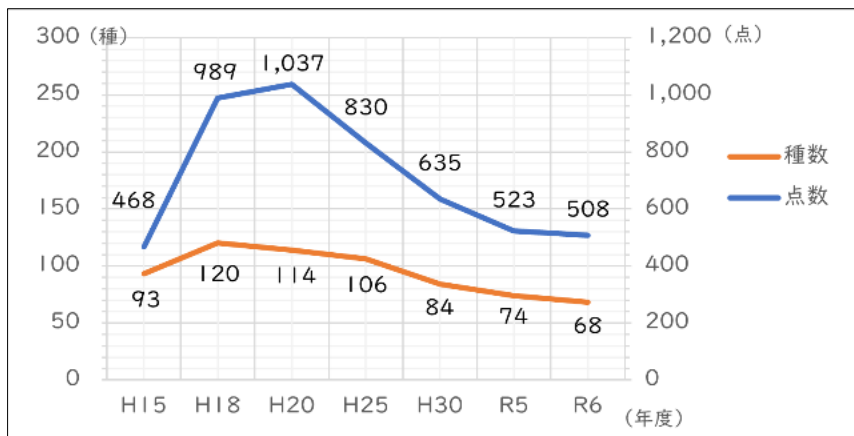


(3) 飼育展示動物の種数と点数の推移

動物種数と点数のピークは、平成18年度から平成20年度で、令和7年1月1日時点では、68種508点となっており、種数は約4割の減少、点数は約5割減少している。

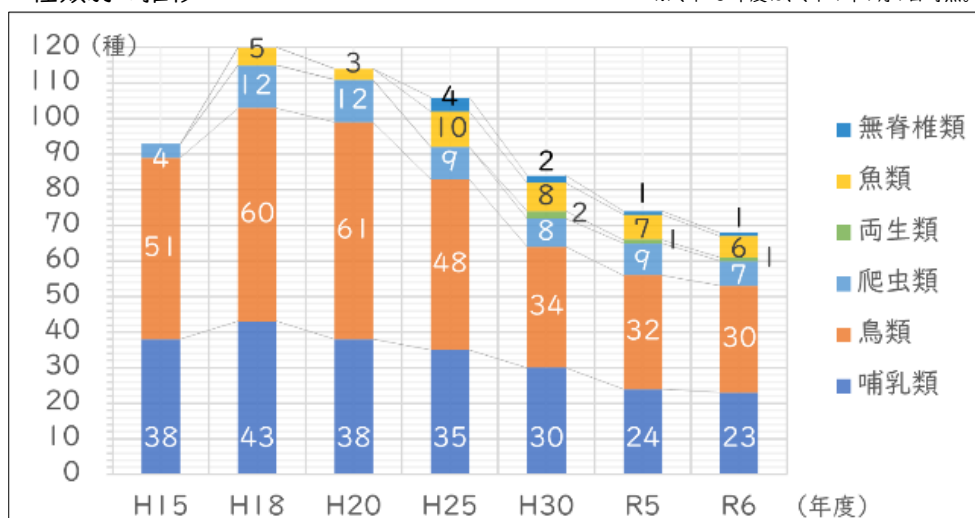


<種数と点数>



<種類別の推移>

※令和6年度は、令和7年1月1日時点。



(4) 動物獣舎の状況

動物の飼育展示で使用している動物獣舎は、全36棟あり、約8割の獣舎が動物公園の開園当時に建築した建築物で、耐用年数から更新目安の時期を見ると、現時点で29棟が耐用年数を迎える状況であり、更新や改修を検討する必要がある。

構造については、鉄骨造からコンクリート造、木造までと様々である。

<動物獣舎の耐用年数の状況>

※耐用年数は、減価償却資産の耐用年数表の構造に準じて算出。

年度	令和6年度 (現在)	令和16年度 (10年後)	令和26年度 (20年後)	令和36年度 (30年後)
耐用年数を迎える 獣舎数	29/36	31/36	34/36	36/36

(5) 管理運営体制

令和6年度の動物公園の管理運営に係る、組織と職員の配置状況は以下のとおりである。

組 織	管理職	職員	職員内訳
羽村市 まちづくり部土木課公園管理係	1名(課長)	3名	係長1名、主任2名
指定管理者(株)横浜八景島 【指定期間:R6.4.1~R9.3.31(3年間)】	1名(園長)	30名	営業・管理13名 施設管理2名 飼育15名(うち獣医師1名)

(6) 令和5年度自主事業の実施状況

令和5年度に指定管理者が施設の魅力向上や利用促進、サービス向上を目的に実施した主な自主事業は、以下のとおりである。

※以下の表では、実施した全34事業のうち主な事業18事業を示しています。

件 名	内 容	参加人数等
各種餌やり体験	ニホンザル、キリン、錦鯉、ミーアキャット、モルモット、亀 他	82,243名
ペンギンガイド	ペンギンのガイドとエサやり	288 名
モルモット教室	モルモットとの触れ合い体験	18,889 名
国際ビーバーデー	飼育員のガイド	100 名
子供飼育体験ツアー	子供向け飼育体験	16 名
レッサーパンダにお誕生日りんごをあげちゃう time	レッサーパンダ誕生日会	-
カブトムシ教室	カブトムシの生態などのガイド	163 名
ナイトツアー	夜間特別ツアー（全4回開催）	74 組 195 名
国際レッサーパンダデー	レッサーパンダガイド	-
SDGs 週間～ほほえムービング～	動物の糞の堆肥レクチャーガイド	-
動物慰霊祭	動物慰霊	-
Dia de Muertos! ～思い出の仲間たち～	過去飼育されていた動物たちのメモリアル展	-
動物にお肉丸ごとプレゼント ～動物福祉のための屠体給餌～	屠体給餌イベント	-
ビーバー特別イベント	ビーバーガイドイベント	-
ロバさんと写真を撮ろう 2023	サンタ衣装のロバと記念撮影	37 組
飼育員による道草ガイド	飼育員と園内をガイド付き散歩	15 名
ハートをプレゼントツアー	バレンタイン&ホワイトデー 特別エサやりイベント	66 名
祝21オ サーバル タカ(♂) 誕生日	サーバルの誕生日会	123 名

2 市民・来園者の評価

市民や来園者を対象に、動物公園の利用状況や利用満足度等をアンケート形式で実施し、調査結果を動物公園の在り方の検討にあたって重要な意向として反映することを目的に実施したものである。

(1) アンケート・ニーズ調査の実施概要

調査名	対象期間	方法	対象者数	回収数
(1)市民アンケート	6/28(金)～ 7/19(金)	郵送及びWEBの併用 によるアンケート調査	1,200人 (無作為抽出)	585 件 (回答率48.8%)
(2)来園者アンケート・ ニーズ調査	<大型連休:GW > 5/6(月) 9:00-15:00	対面式アンケート調査 (利用者から紙面で回答)	1,658人 (当日入園者数)	151票 (回答率9.1%)
	<平日:火～金> 5/30(木) 9:00-14:00		263人 (当日入園者数)	50票 (回答率19.0%)
	<繁忙日:土日 祝>6/9(日) 9:00-15:00		1,525人 (当日入園者数)	152票 (回答率9.9%)
合計			4,646人	938票

(2) 市民アンケートの結果

令和6年度に市民を対象に実施した公共施設マネジメントに関するアンケート調査のうち、動物公園に関する市民の意見や提案等は以下のとおりである。

① 設問に対する回答

全項目のうち、「税金の負担を見直しながらも運営を続けるべきである」との回答が88.5%、それに対して「廃止するべきである」が5.5%となった。

問9	動物公園は、市民や市外の方から親しまれている市の公共施設ですが、一方で利用料収入だけでは管理運営費を賄えず、市民の税金により運営されています。今後の運営についてどのように考えますか。(回答を1つ選択)		
回答		回答数	割合
税金の負担が拡大しても維持、充実するべきである		61人	10.4%
税金の負担が拡大しないように維持、運営するべきである		299人	51.1%
税金の負担を減らすように運営を見直しするべきである		158人	27.0%
廃止するべきである		32人	5.5%
わからない		30人	5.1%
無回答		5人	0.9%

② 自由意見・提案等

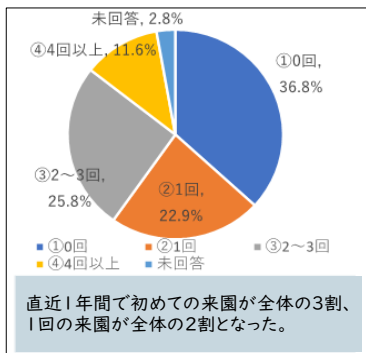
項目	残したい「思い入れ・親しみ」
動物園は子どもが小さい時は行っていましたが、現在は行くことはありません。ただ、なくなってしまうのもさみしいです。	
今は「残したい、守りたい」と思う人が集まってそういう人たちの力で何かを守っていく時代のように感じています。	
動物園は小さくないでほしい。子どもだけでなく、高齢者も楽しめるような場になると利用者の幅も増えるのではないのでしょうか。	
動物公園は市民だけでなく市外の方からも親しまれている施設だと思うので、これからも長く続けてほしいと思います。	
項目	続けてほしい「羽村市のシンボル」
小さな子どもがいる家庭は、市外からでも羽村の動物園に遊びに来ているという話を周りからよく聞きます。動物園は羽村市のシンボリックな存在だと思いますので、ぜひ今後とも維持管理していただきたいと思います。	
まず動物公園に関しては、私の周辺で話を聞くと多摩地区以外の住人も来園し、羽村市を知ってもらうきっかけとなる施設でもあるため、サービスを低下させるのは良くない。	
項目	続けてほしい「市民の誇り・文化教養」
食べ物や交通機関のように生命維持に絶対に必要なものではないが、人間としての精神の健康の維持・向上、ゆとりに必要なものと考えるので、ぜひ大切に維持してほしい。市に動物園があるということは、市民にとって誇りである。	
項目	廃止はやむを得ない
子どもが小さい頃は町営動物園によく遊びに行きました。工場が引き払い、人口減少を感じていました。背に腹は代えられない。さみしいけど維持するにはお金がかかりすぎる。廃止に○をつけました。	
動物公園は公園にしたらどうですか？あまり木が多いと手入れに費用がかかる。明るくない！トイレはキレイが良い。ベンチを多く。週末にいろいろな飲食などのイベント会場になったり、避難場所にもなる。入園費用をもっととってもいいと思う！	
項目	動物公園の管理運営について
動物園に関してはかなり利用させていただいているのですが、他動物園と比較してもキレイな施設とは言えません。税金が多少増えてでもキレイにしていきたいです。	
動物園の入園料は高くして良いと思う。	
差し入れの受入れ窓口を作る。いろいろアイデアがあると思う！我が家はりんごを1箱もらってしまい、レッサーパンダに届けたかったのですが、窓口がわからず…。	
動物園をもっと SNS やメディアなどで社会の表へと出していき活性化させると同時に、駅から動物園までの距離があるので、はむらんなどを時間調節しつつ送迎バスを作れば良いと思う。	
動物公園については、市税の負担を増やすか減らすか以前に経営のプロに任せたり、クラウドファンディング等やり方はたくさんあるのではないのでしょうか。	

(3) 来園者アンケート・ニーズ調査の結果

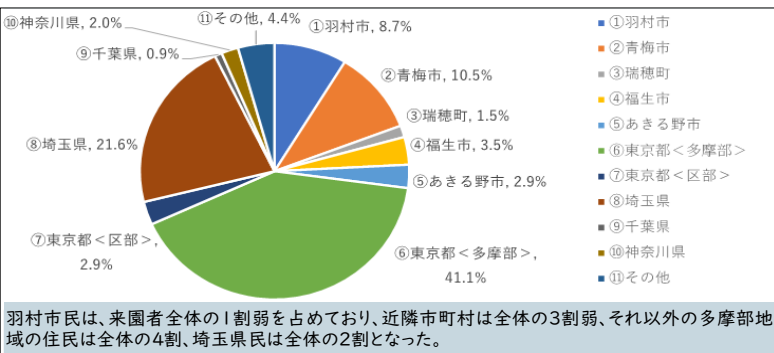
個人の来園者を対象に実施したアンケート・ニーズ調査の結果は以下のとおりとなった。

① 利用状況

<直近1年間の来園回数>



<住まい>



② 利用者満足度

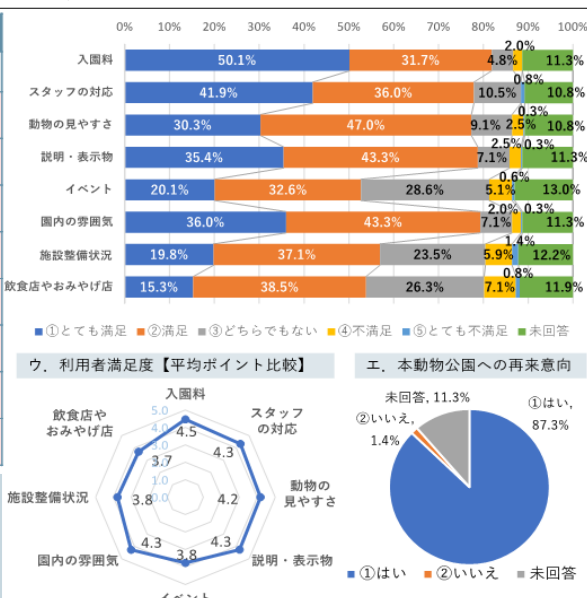
<利用者満足度>

※評価基準:5段階評価、最高点5、最低点1

ポイント	高 ← → 低					未回答	計	平均ポイント
	5	4	3	2	1			
上段/回答者数 下段/割合 (%)	①とても満足	②満足	③どちらでもない	④不満足	⑤とても不満足			
入園料	177 50.1%	112 31.7%	17 4.8%	7 2.0%	0 0.0%	40 11.3%	353 100.0%	4.5
スタッフの対応	148 41.9%	127 36.0%	37 10.5%	0 0.0%	3 0.8%	38 10.8%	353 100.0%	4.3
動物の見やすさ	107 30.3%	166 47.0%	32 9.1%	9 2.5%	1 0.3%	38 10.8%	353 100.0%	4.2
説明・表示物	125 35.4%	153 43.3%	25 7.1%	9 2.5%	1 0.3%	40 11.3%	353 100.0%	4.3
イベント	71 20.1%	115 32.6%	101 28.6%	18 5.1%	2 0.6%	46 13.0%	353 100.0%	3.8
園内の雰囲気	127 36.0%	153 43.3%	25 7.1%	7 2.0%	1 0.3%	40 11.3%	353 100.0%	4.3
施設整備状況	70 19.8%	131 37.1%	83 23.5%	21 5.9%	5 1.4%	43 12.2%	353 100.0%	3.8
飲食店やおみやげ店	54 15.3%	136 38.5%	93 26.3%	25 7.1%	3 0.8%	42 11.9%	353 100.0%	3.7

全項目において、平均ポイントで3.5ポイント以上の評価となった。特に平均ポイントが高い項目は「入園料」で、平均ポイントが低い項目は「イベント」「施設整備状況」「飲食店やおみやげ店」となり、これらの3項目は満足している回答者が5割程度にとどまった。

<回答者数割合>



③ 人気動物

<人気動物の写真>

																																																			
1位 アミメキリン	2位 ファンボルトペンギン	3位 シセンレッサーパンダ																																																	
																																																			
4位 ニホンザル	5位 ミーアキャット	6位 グラントシマウマ	7位 テンジクネズミ																																																
																																																			
8位 カピバラ	9位 アメリカビーバー	9位 サーバル	11位 アルマジロ																																																
<table><tr><th>順位</th><th>種</th><th>得票数</th></tr><tr><td>1</td><td>アミメキリン</td><td>189</td></tr><tr><td>2</td><td>ファンボルトペンギン</td><td>131</td></tr><tr><td>3</td><td>シセンレッサーパンダ</td><td>80</td></tr><tr><td>4</td><td>ニホンザル</td><td>69</td></tr><tr><td>5</td><td>ミーアキャット</td><td>39</td></tr><tr><td>6</td><td>グラントシマウマ</td><td>25</td></tr><tr><td>7</td><td>テンジクネズミ</td><td>22</td></tr><tr><td>8</td><td>カピバラ</td><td>21</td></tr><tr><td>9</td><td>アメリカビーバー</td><td>18</td></tr><tr><td>9</td><td>サーバル</td><td>18</td></tr><tr><td>11</td><td>ムツミビアルマジロ</td><td>16</td></tr><tr><td>12</td><td>オグロプレーリードッグ</td><td>14</td></tr><tr><td>13</td><td>インドタテガミヤマアラシ</td><td>13</td></tr><tr><td>14</td><td>ロバ</td><td>11</td></tr><tr><td>15</td><td>エミュー</td><td>9</td></tr></table>				順位	種	得票数	1	アミメキリン	189	2	ファンボルトペンギン	131	3	シセンレッサーパンダ	80	4	ニホンザル	69	5	ミーアキャット	39	6	グラントシマウマ	25	7	テンジクネズミ	22	8	カピバラ	21	9	アメリカビーバー	18	9	サーバル	18	11	ムツミビアルマジロ	16	12	オグロプレーリードッグ	14	13	インドタテガミヤマアラシ	13	14	ロバ	11	15	エミュー	9
順位	種	得票数																																																	
1	アミメキリン	189																																																	
2	ファンボルトペンギン	131																																																	
3	シセンレッサーパンダ	80																																																	
4	ニホンザル	69																																																	
5	ミーアキャット	39																																																	
6	グラントシマウマ	25																																																	
7	テンジクネズミ	22																																																	
8	カピバラ	21																																																	
9	アメリカビーバー	18																																																	
9	サーバル	18																																																	
11	ムツミビアルマジロ	16																																																	
12	オグロプレーリードッグ	14																																																	
13	インドタテガミヤマアラシ	13																																																	
14	ロバ	11																																																	
15	エミュー	9																																																	

第3章 基本方針

1 基本方針策定の目的

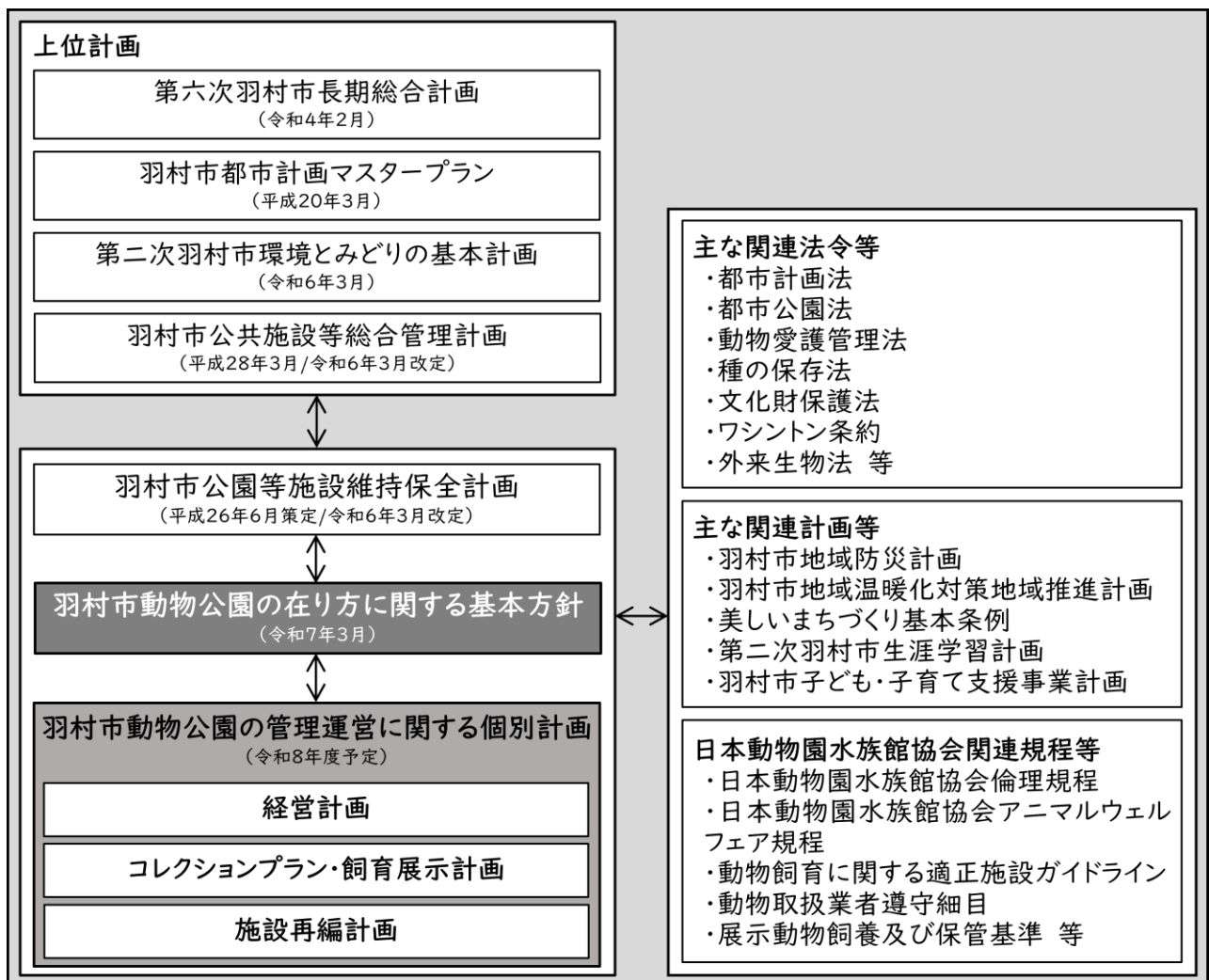
羽村市動物公園は、開園から45年以上が経過し、施設の老朽化への対応、入園者数の減少、物価高騰等の影響による飼育費の増加、及び人件費の高騰等による市の財政負担の増加が喫緊の課題である。

この状況を踏まえ、市では羽村市動物公園の今後の在り方を検討し、その結果に基づき、これらの課題の解決に向けて、より効率的かつ効果的な管理運営・経営手法の導入による管理運営費の抑制や削減、今後の飼育展示動物の選定、より魅力的な動物展示方法への取り組み等の変革に早急に取り組む必要があります。

これにより、今後も多くの方々が動物と身近に出会い「ぬくもりや感動」を味わえる特別な場所、「羽村の象徴(シンボル)」としての魅力を維持しつつ、「身の丈にあった経営」との両立を基本とした持続可能な管理運営を目指し、以下に「羽村市動物公園の在り方に関する基本方針」を策定します。

2 基本方針の位置付け

羽村市動物公園の在り方に関する基本方針の施策の推進にあたっては、上位計画との整合性や動物に関する法令の遵守、関連する他の計画との連携を図ります。



3 将来像

<目指す将来の動物公園の姿>

市民にとっての「はむら“らしさ”」の象徴としての存在と、
身近に動物とふれあい「ぬくもり」を感じられる特別な場所として愛され続けるため、
より効率的な管理運営体制へ変革し、持続可能な動物公園を目指します。

4 基本方針

<3つの基本方針>

3つの基本方針は、それぞれが独立しているのではなく、相互に関連し、支え合う構造を持っています。特に、基本方針3「変革による持続可能な管理運営体制づくり」は、動物園に関する基本方針1と公園に関する基本方針2を推進・実現するための「経営」基盤となる方針です。

● 基本方針1		動物園
愛され続ける動物園づくり		
重点 施策	飼育展示動物の評価・選択・分類	動物園としての役割や管理運営状況を踏まえ、飼育展示動物の種類や種数を計画的に管理します
	特色ある動物展示への取組	動物の快適性と飼育のしやすさに配慮しつつ、魅力的で特色のある展示に取り組みます
	アニマルウェルフェアへの取組	動物にとって快適で、幸せな飼育展示環境の創出に取り組みます
基本 施策	教育・普及活動の拠点としての取組	教育関係団体との連携を強化し、教育・普及活動の拠点としての活用促進に取り組みます
	参加型支援事業への取組	来園者が動物を支援できる参加型支援事業に取り組みます
	動物園の役割に基づく取組	JAZAが示す4つの役割に基づく取組や、生物多様性の保全に取り組みます
● 基本方針2		公園
地域との連携による公園づくり		
重点 施策	市民の居場所の創出	市民や来園者にとっての憩いの場として、交流が生まれる機会の創出に取り組みます
	地域との連携による取組	地域住民・団体や事業者、他動物園（動物公園）との連携による事業に取り組みます
	遊び・健康づくりの場としての活用	自然林や広場等の公園施設を活用し、子どもも大人も楽しめる場づくりに取り組みます
基本 施策	地域活性化への貢献	羽村市の魅力発信やにぎわい創出の拠点としての活用促進に取り組みます
	情報発信の強化	広報誌やSNSでの発信や地域のメディアと連携し、動物公園の魅力を積極的に発信します
	防災拠点としての役割	災害時の広域避難場所や救助・救護活動拠点、物資の集積・輸送拠点としての役割に備えます
● 基本方針3 変革による持続可能な管理運営体制づくり		経営
重点 施策	管理運営費の抑制・削減	社会経済情勢や市財政状況を踏まえ、事業を見直すことで管理運営費の抑制・削減を図ります
	管理運営手法の検討	市民や民間パートナーとの連携による新たな管理運営手法の導入検討に取り組みます
	経営戦略に基づく管理運営の推進	経営戦略に基づき、組織で目標達成に向けた活動を推進し、持続的な変革に取り組みます
基本 施策	自主財源の確保	クラウドファンディングやネーミングライツ等を活用した自主財源の確保に取り組みます
	受益者負担の適正化	物価高騰や市外来園者の状況等の変動を踏まえ、入園料等の見直しを検討します
	施設再編に向けた用途や機能の整理	各施策と連動し、動物園及び公園それぞれの用途・機能から施設の再配置を検討します

第4章 管理運営計画の策定

1 管理運営計画の目的と位置付け

前項で掲げた3つの基本方針の施策を具体的に推進するため、3つの個別計画で構成する、管理運営計画を策定し、持続可能な管理運営体制を構築します。

動物公園は、動物園機能と公園機能の2つの分野があり、それぞれの分野における専門的な検討を深める必要性和、その2つの分野を融合させた経営基盤を確立する必要があります。

このことから、3つの分野に応じた個別の計画を策定し、相互に連携し、整合性を保ちながら具体的な取組を推進します。

2 個別計画の策定概要

個別計画の策定にあたっては、以下の視点・課程を踏まえて策定を進めます。

<経営計画>

動物公園の経営基盤を確立し、持続可能な運営を可能にするための計画

【現状分析】

- ・来園者数、収益、動物福祉、管理運営状況、施設状況などの現状データを収集・分析
- ・SWOT 分析（強み、弱み、機会、脅威）などを用いて、客観的な現状把握

【課題の明確化】

- ・現状分析に基づき、管理運営上の課題（民間活力導入を含む）、来園者ニーズの変化、社会経済情勢、財政状況、動物福祉に関する課題などを明確化
- ・課題を短期、中期、長期の視点で整理

【目標設定】

- ・来園者数、収益、動物福祉、教育プログラム、地域連携等、定量的目標と定性的目標を設定

【戦略策定】

- ・目標達成のための具体的な戦略（来園者数・収益向上戦略、コスト削減戦略、動物福祉向上戦略、教育普及戦略、市民連携強化戦略など）を設定
- ・各戦略の優先順位と実施スケジュールの明確化

【重点施策の具体化】

- ・基本方針に示す重点施策に関する具体的な取り組み、実施体制、スケジュール、予算等を設定

【KPI 設定と効果測定】

- ・各施策の進捗状況と効果を測定するための KPI（重要業績評価指標）を設定
- ・定期的な効果測定と評価を実施し、必要に応じた計画の見直し

<コレクションプラン・飼育展示計画>

動物の計画的な飼育展示と、動物福祉に配慮した魅力的な動物公園を実現するための計画

【コレクションプラン】

- ・動物公園の将来像、希少性、人気、動物福祉、施設環境、飼育管理の専門性などを総合的に考慮し、飼育展示していく動物種を評価・選択・分類し、「コレクションプラン」を策定
- ・動物種ごとの優先順位、飼育目標、繁殖計画、展示計画などを設定
- ・動物の種類と種数、管理運営費の推移を算出し、効果と影響を分析

【飼育展示計画】

- ・動物公園の特性や資源、動物の生態・行動を考慮し、動物福祉に配慮した飼育展示の指針を設定
- ・来園者に感動と学びを提供する魅力的で特色ある展示を計画

【教育プログラムと市民連携】

- ・動物に関する知識や自然環境の大切さを伝える教育プログラムを充実
- ・市民や地域団体との連携を強化し、動物公園の存在価値を向上

<施設再編計画>

動物公園機能と公園機能を最適化し、効果的な活用と魅力的な施設を実現するための計画

【施設更新・廃止方針】

- ・コレクションプラン・飼育展示計画、経営計画を踏まえ、既存施設の更新や廃止等の方針を設定

【ゾーニングと管理運営手法】

- ・動物園エリアと公園エリアのゾーニングを検討し、各エリアの機能と役割を明確化
- ・各エリアの特性に合わせた管理運営手法（民間活力導入を含む）を検討

【既存施設再評価と転用】

- ・既存施設の利用状況を再評価し、複数の用途に使用するなど効率的な施設利用を促進
- ・遊休施設の有効活用策を検討

【用地全体の有効活用】

- ・動物公園用地全体の有効活用方法を検討し、新たな魅力創出や収益向上に繋げる

3 管理運営計画の進行管理

管理運営計画の進行管理においては、各個別計画の進捗状況を定期的に点検・評価し、必要に応じて見直しを行うとともに、動物種数の変動に合わせてコレクションプラン・飼育展示計画を柔軟に更新します。